

ほんべつ 議会だより

No.86

平成30年8月1日発行

ほんべつ学びの日（夢風）事業

第35回 吹奏楽合同演奏会



みんなで奏でる ドラえもん♪

6月23日（中央公民館）本別ジュニアブラスアンサンブル、本別中学校吹奏楽部
本別高等学校吹奏楽部、本別ブラスアンサンブル

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1

TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

第2回定例会

職員の特殊勤務手当に関する

条例の一部改正等を可決

平成30年第2回定例会は6月5日に開会し、一般会計他5会計の補正予算、職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正、資源ごみ処理等に関する事務の事務委託などを審議しました。

審議された内容は次のとおりです。

条例改正

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

国民健康保険病院の救急患者受入体制などの充実を図るため、夜間、休日救急業務に従事する職員の待機命令に対する手当を支給するための改正です。

【改正内容】

◎支給範囲

看護師及び准看護師、臨床検査技師、診療放射線技師

◎手当の額

①休日等の日中に待機する場合は1回につき2,500円
 ②午後5時15分から翌日の午前8時30分まで待機する場合は1回につき1,500円

問 なぜ3月定例会に提案し、4月1日に施行とならなかったのか。

どのような形で内部協議をして、今回の提案に至ったのか。

答 看護部門では3人の管理職で努力してきたが、体調を崩し、肉体的にも限界に達しています。

救急医療体制継続のため、医者や看護師、事務局で協議をした結果、この時期になりました。

問 町外から通勤している職員は対応できるのか。

答 町外から通勤している職員も対応します。

問 待機は月にどの位の回数となるのか。また、当番の指定方法は。

答 現在勤務する26人の看護師で当番制を組み、月に1〜2回程度待機する予定です。

問 1回に何人待機させるのか。

答 夜間については365日、毎日1人が待機にあたり、土・日・祝日の昼間についても1名が待機にあたります。



国保病院ナースステーション





**「条例の一部改正」に対する
反対討論…大住議員**

急ぎよ出てきた話で、税金を使って特殊勤務手当を支給するという内容だと、町民の皆さまに説明をしなければならぬ。病院のモニターの方々、町民の方々に詳細にわたって丁寧に説明をすべきだと思いますので、今定例会での条例改正については反対します。

賛成討論…高橋議員

患者の命を救うためには、いかに緊急に患者を病院へ搬送するかということ、救急体制の充実が求められています。そういう意味では、今回の条例改正にあたって現在の町立病院の状況を考えたときに、少しでも救急体制の充実を図るという意味から、条例改正については賛成いたします。

採決の結果

賛成者7人、反対者3人で原案可決されました。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童健全育成事業とは、主に保護者の労働等により昼間家庭にいない小学生の子どもたちに対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図ることを目的としています。町内には対象となる学童保育所を3カ所開所しており、従事者の資格要件について今回改正するものです。

問

教員資格がなくて、5年以上放課後児童育成事業に従事した者が、町長が認められた者が対象となるということが良いか。また、教員資格の有無で、給与などは変わるのか。

答

教員資格を持つていないくても、5年以上の経験があり、町長が認めた者であれば良いとする要件の拡大であります。また、本町の場合、学童保育所の先生は、すでに必

要な研修を受けており、給与は同額となります。給



弥生町の学童保育所（文教会館）

一般会計補正

地域住民集会施設

問 地域住民集会施設の設置補助金の内容は、

答

自治会等が設置する集会施設の構築、取得、改修の経費を対象に補助します。今回、2つの自治会の合併によるもので、改修の場合は合併加算200万円を加えた限度額700

万円の2分の1か、改修費の9割以内の額と比較して、いずれか低いほうの額を交付します。

本別公園「義経の館」

問

義経の館の自動ドア改修を、施設を新しくしたときに行わず、なぜ観光シーズンのこの時期に行なうのか。

答

今年4月から施設をリニューアルしましたが、飲食コーナーの営業に伴い、ドアの閉め忘れによる衛生上の問題や子どもなどの安全上の対応が急きよ必要となり、今回の提案となりました。



義経の館に設置された自動ドア

体力増進センター

問 体力増進センターに購入する卓球台はどのようなものか。

答 体力増進センターの利用者の方から御寄付をいただき、寄付者の意向で卓球台を3台更新します。台は隣の(株)三英の公認卓球台となります。



更新された卓球台

病院事業会計補正

特殊勤務手当

問 救急業務待機手当210万円の算出根拠は。

答 6月から夜間は300日×3部局×単価1,500円、平日は100日×3部局×単価2,500円、75万円で、合計210万円です。

平成30年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(5,489万3千円)	・除雪ダンプ購入 ・橋りょう長寿命化事業の増 (臨時会)
	(1,933万5千円) 67億6,574万1千円	・人事異動による人件費の調整に伴う減 ・地域住民集会施設設置補助金 ・義経の館玄関の自動ドア設置 ・消防団員退職報償金等の追加 (定例会)
特別会計	(1,391万7千円) 9億8,693万7千円	人事異動による人件費の調整に伴う増 (定例会)
	(525万5千円) 2億9,551万5千円	人事異動による人件費の調整に伴う増 (定例会)
会計	(△855万8千円) 1億1,163万7千円	人事異動による職員数減による減額 (定例会)
	(166万8千円) 4億8,834万9千円	人事異動による人件費の調整に伴う増 (定例会)
病院事業会計	(1,516万7千円) 14億2,518万5千円	職員の採用と人事異動、待機手当新設による増 (定例会)

※第2回臨時会含む(4月25日開催)

「病院事業会計補正」に対する反対討論…大住議員

先般の条例改正のときも申しましたように、内容を聞くとき非常に高額であり、執行するにあたって最大限で210万円ということ、趣旨になかなか沿えないということ、これだけの大金を簡単に補正をかけて、執行していくということには私はいらないと思いますので、反対します。

賛成討論…阿保議員

病院の人員不足という中で、過酷な勤務を強いられているという状況も明らかになっていきます。そういう中で、地域住民の命を守るという立場から前回の条例が可決され、それに伴う今回の補正予算提案ということで、そういう点からも今回の中身については非常に重要な中身だと私は思いますので賛成します。

採決の結果

賛成者7人、反対者3人で原案可決されました。

財産の取得

住民情報システム機器更新

現在使用している住民情報システムは導入から7年が経過し更新時期を迎えていることから、機器更新を行うものです。

住民情報システムとは住民記録、住民税等の税処理、住宅使用料等、住民に身近なサービスに直結する基幹システムです。

問 個人情報などの情報セキュリティの関係はどのようになっているのか。

答 それぞれのパソコン、職員ごとに指定したパスワードやIDの入力に加え、手のひらによる静脈認証を行っており、担当以外の職員は使用できないようになっています。

資源ごみ処理等に関する
事務委託

平成31年4月1日から資源ごみ、小動物の焼却、一般及び事業系の廃棄物の直接搬入に関する事務等を足寄町に委託するものです。

問 ごみの分別体制やごみ袋の関係も変わってくる想定されますが、町民の方々への説明は。

答 素案的なごみの仕分け表を作成し、8月後半に住民説明会を予定しています。自治会長さんには事前にお知らせを考えています。

第2回臨時会

教育長に佐々木教育次長を同意

平成30年第2回臨時会は4月25日に開会し、教育委員会教育長の任期満了に伴う次期教育長任命について同意、国民健康保険税条例の一部改正などを審議しました。

教育長任命同意

5月11日に任期満了となる教育委員会教育長の任命について、佐々木基裕教育次長を任命することに「全会一致で同意」しました。

条例改正

国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の改正を受けて、国民健康保険税の限度額などが変わります。

【改正内容】

①限度額が54万円から58万円へ引き上げとなります。



銀河クリーンセンター（足寄町）

②低所得者層の5割軽減及び2割軽減判定所得の範囲を広げ、軽減対象者の世帯の拡大を図ります。

問 今回の改正に伴う影響額は。

答 29年度ベースで試算した結果、限度額の改正では114件、影響額437万8千円です。軽減判定では、5割軽減の対象が5件増、影響額23万1,500円の減となり、2割軽減は、判定所得の範囲拡大により2割軽減から5割軽減に移行する形で、2件減の影響額1万9,200円の増となります。

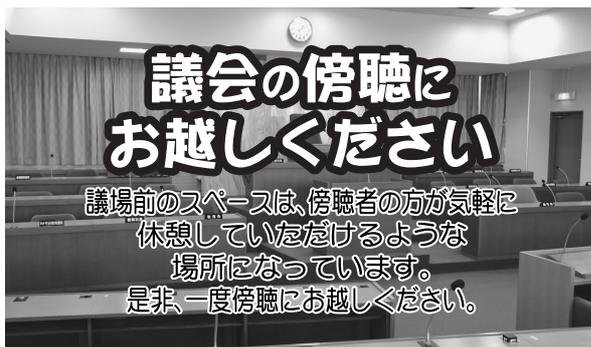
議会用語の解説

《所管事務調査》

所管事務調査は、常任委員会（本別町議会では、総務常任委員会、産業厚生常任委員会、広報・広聴常任委員会）があります。その部門に属する事務に関する調査、議会運営委員会は、議会の運営に関する調査を行うことをいいます。

所管事務調査権は、常任委員会が自主的にその所管事務（条例で定められています）を取り上げ積極的に調査を行うことができ、特別委員会にはありません。

委員会の意図する調査事項に対して、必要により、長をはじめとする執行機関からの説明の聴取書類、資料等の提出を求めることができます。議会だよりには、その結果を報告しています。



議会の傍聴にお越しく下さい

議場前のスペースは、傍聴者の方が気軽に休憩していただけるような場所になっています。是非、一度傍聴にお越しく下さい。

議会基本条例の
検証結果の公表について

議会のホームページにて、議会基本条例の検証結果や各議員の自己評価について公表をしています。

ホームページアドレス
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>
(町ホームページ内「議会情報」をクリック)

一般質問

6人の議員から8問



行政

公共施設等へのWi-Fi（公衆無線LAN）設置について

答 利便性の向上を理解し、導入施設や時期について検討します



藤田直美議員

避難所として防災拠点となる公民館などに設置する考えは、
③図書館を知の拠点とし、児童生徒が図書資料とインターネットを活用した情報収集ができるよう設置する考えは。

藤田議員 Wi-Fi整備の促進は、情報発信を通じた地域の活性化、災害時の通信手段の確保に役立つなど、新たな社会基盤として重要な役割を有しています。

高橋町長 ①②セキュリティ確保、機器購入、利用方法の検討などが必要となります。他の災害対応施策の優先度、重点度を見きわめ、導入対象施設や適切な導入時期について検討していきます。

Wi-Fi設置の要望がある義経の館
①庁舎はもちろんですが、観光の観点から義経の館に設置する考えはないか。
②災害時の安否確認など、有効な通信手段として効果が期待できることから、

佐々木教育長 ③現状は図書館に設置のパソコンで調べたい図書や新聞記事等を検索することができず。今後も行政サービスの高度情報化に合わせた図書館サービスのあり方について検討していきます。

「まちづくりは人づくり」の成果は
答 魅力ある本別を次代につないでいきたい



小笠原良美議員

小笠原議員 ①町長は就任以来、まちづくりは人づくりを掲げて町政に取り組んできたと思えますが、その成果は。
②元役場職員が起こした不祥事の発覚以来、多くの町民の皆さんは、行政に対する不信感や不満を持たれ、町長の思いと町民の方々の気持ちに

かい離があると考えます。町長になろうと思った最初の気持ち、初心を思い起こし、まちづくりに臨むことが、町民の皆さんと一緒に手を携えたまちづくりができるのではないかと思います。

高橋町長 ①自分のまちは自分達でつくるという理念が根付き、町民の皆さんが生涯にわたって学び、自発的にまちづくりに参加していただく環



次代を担う子どもたちと百人一首

境が整い、魅力ある本別を次代につないでいくことのできる下地ができました。

②不祥事を境にして、町民の皆さんとの気持ちにかけ合いがあるということもすっかり受け止めながら、一日も早い信頼回復に努め、次の時代を担う世代がこの町に住み続け、頑張れる、まちづくりのために全力を尽くします。



子どもたちにやさしい通学路を

子どもたちにやさしい通学路を
 ①本別中央小学校
 通り（信号機左折か
 ら中央小学校校門）
 までの歩道は、ひび
 割れ、でこぼこ、縁
 石の崩れなどが至る
 ところにあることか
 らも再整備するべき
 と思うが。
 ②町道中央橋通り
 （中央橋から高校交
 差点まで）の歩道は
 ひび割れがひどく、



高橋利勝議員

本別中央小学校通り歩道の再整備を
答 子どもたちの心がホッとするよう
 な通学路となる努力をします

一部補修していますがさすが全体的
 に補修するべきでは。

高橋議員 町道の歩
 道は傷んでいるとこ
 ろも多く、町民から
 補修、整備を望む声
 があります。そこで
 2点について伺いま
 す。

①本別中央小学校
 通り（信号機左折か
 ら中央小学校校門）
 までの歩道は、ひび
 割れ、でこぼこ、縁
 石の崩れなどが至る
 ところにあることか
 らも再整備するべき
 と思うが。

高橋町長 子どもたちの心が
 ホッとするような環境の通学
 路にできるように努力します。

高橋議員 中央小学校通りは、
 殆ど児童しか通らず、教育施
 設の環境整備から考えると好
 ましくないのでは。

高橋議員 多くの町民の願
 いは、本別高校の存続だと思
 います。そこで3点について伺
 います。

佐々木教育長 ①すでに町長
 と教育委員会は、道教委に次
 年度も2間口募集枠の確保を
 要請しました。今後も9月の



教 育

**本別高校存続のための
 今後の取り組みは**

答 引き続き2間口確保に向けて努力します

募集決定に向け積極的に展開
 していきます。

②本別高校を考える会は、
 町民集会の開催などの取り組
 みを計画していますので、連
 携して取り組みを進めます。

高橋町長 ③まちづくりの原
 点は人づくりです。本別高校
 を中心に、学びの環境を育て
 ていきます。



2年ぶりに単独出場した本高野球部



福祉

難病に対する考え方について

答 難病手帳は保健所と検討
個別の相談はセンターで引き続き支援



大住啓一議員

大住議員 平成27年1月に「難病法」が施行され医療補助制度が大きく変りましたが、本町の対応、対策について3点お伺いいたします。

①本町にお住いの患者さんは平成29年3月31日現在、82人ですが、患者さんやご家族の皆さんが集うことのできる施設を充実すべきと思いますがお考えは。

②本町において、お一人で活動している方々への支援は。また「難病手帳」



相談窓口となるケアセンター

③本町では、現在38人の方に相談支援を行なっています。健康管理センターや総合ケアセンターが引き続き個別相談や支援に努めます。

のような制度を設ける考えは。
③医療費助成新制度移行により、負担増となることへの不安を感じている難病軽症者の方々への対応は。

高橋町長

①銀河サロンやあいの里交流センターなど関係団体との連携強化に努めます。
②関係団体の方々との相互理解を図ります。難病手帳については、災害時の対応も含め保健所とも相談し、検討はしていきたい。



暮らし

公営住宅ペット可で人口減対策を

答 いろいろな観点からペット禁止の今の基準で対応しています



阿保静夫議員

阿保議員 公営住宅で犬、ネコ等のペット飼育は、全国ほとんどの自治体で禁止だと思われまます。他の住人への迷惑や住宅内部の破損、臭いなどがその理由です。

ただ、道内でも公営住宅でペットと入居が可能です。その狙いには、人口減対策があったこととことです。また、宮城県などでは東日本大震災・津波災害の復興公営住宅でのペットとの入居を可能としている例もあり、熊本市でも災害公営住宅の一部に、「ペット可」を検討中との報道です。
①人口減対策としての定住移住促進方策の一つとして、



心を癒してくれるペット

「ペット同居可」の公営住宅の指定棟や指定団地などを検討する考えはないか伺います。

高橋町長 公営住宅の入居に關しては、いろいろな観点から考えて、ペット禁止の今の基準で対応しています。ペットを含めての要望があるとすれば、ペットと一緒に住める住宅の情報提供ができればと思っています。

産 業

介護人材に外国人スタッフ活用は

答 外国人労働者受け入れ拡大を町全体で取り組みたい

阿保議員 本町では、酪農分野などで「技能実習生」を受け入れ、重要な働きをされていると聞いています。



ものしり博士から

介護人材の状況…

本別町の介護サービス事業所では、平成30年6月11日現在、233人の職員が介護にあたっています。4カ月前の調査より13人増加していますが、団塊の世代が75歳を迎える2025年には、258人の介護人材が必要とされています。

国は外国人労働者の受け入れの拡大に踏み込み、外国の方が必要な技能と日本語能力の試験を経て、5年間の在留ができるとする方向です。人手不足に悩む各分野では歓迎の声、労働条件の整備なども併せて求められています。

①本町では特に介護人材の不足が課題ですが、その対策の一つとして、この制度の研究、活用を図ることも必要ではないかと考えます。

また、人口減、定住対策にもつなげていくという観点からも見解を伺います。

高橋町長 介護人材不足は大きな問題で、平成29年には「介護現場における外国人の受け入れ」の研修会を開催し

ています。

町としては、介護事業者、農業、建設業、観光業など外国人労働者の受け入れ拡大の対象となる部局間での連携を図り、町全体で取り組んでいきたいと考えます。



みんなでラジオ体操 (特養ホーム)

生産人口減少に対応するために

答 関係機関と協議を図り検討を進めていきたい



矢部隆之議員

矢部議員 労働人口の減少により本町でも人手不足が深刻化しており、町外からの労働者確保のため賃貸住宅の支援策について以下2点伺います。

①学生、若者の就農に対する関心が高まっている今、空き家になっていく教員住宅の斡旋や、家賃の補助制度の創設などの支援策を関係機関と協議、検討する考えは。

②現在多数の外国人労働者が本町で就労しており、また町外から家族で就労希望する人など、複数の人が共同生活を営むための中古住宅の支援策について協議、検討する考えは。

高橋町長 ①住宅の確保実施については、定住、移住促進事業と連動し、関係機関等と



空き家の情報発信中

協議を図りながら検討を進めたいと考えます。

②移住サポートセンターも活用し、空き家の情報収集や情報発信の内容の充実を図り、利用者ニーズに即した中古住宅が供給できるよう運用を図りたいと考えます。

意見書

第2回定例会では4件の意見書が提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣、北海道知事など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

北海道主要農産物種子条例の制定に関する要望意見書

我が国の食と農を支えてきた種子法が、本年4月1日に廃止されました。このことは、我が国の食の安全、安心、食料主権が脅かされることであります。将来にわたって北海道の優良な種子が安定的に生産及び普及が図られ、生産者が安心して営農に取り組み、高品質な道産農作物が消費者に提供できるよう、北海道主要農産物の種子に関する北海道独自の種子条例を早期に制定することを求めます。

提出者 高橋 利勝



2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、医療・介護、子育て支援などの社会保障への対応、地域交通の維持、森林環境施策の推進などに加え、人口減少対策、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

住民生活と地域経済に大きな影響を与えないよう、来年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、社会保障予算の充実と地方一般財源総額の確保を求めます。

提出者 高橋 利勝



教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

教職員の超勤・多忙化解消の実現、「30人以下学級」の早期実現、地域の特性にあった教育環境整備・教育活動の推進、住む地域に関係なく子どもたちの教育保障、就学援助制度・奨学金制度の拡充など、教育予算の確保・拡充、就学保障の充実をはかるよう意見します。

提出者 黒山 久男



「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、機械的な高校統廃合を行わないことを求める意見書

北海道の広域性、学校種や地域の実情を考慮した少人数学級の実施など、道独自の配置基準を設置し、子どもたちや保護者、地域住民の声を聞きながら、学校づくりをすすめることが大切です。

地域の学校を存続させ、地域の高校が高校としての機能を果たせる施策の実施を強く求めます。

提出者 藤田 直美



全道議員研修会に参加

7月3日に札幌市で開催された「北海道町村議会議長会議員研修会」に参加し、議会活動への研鑽を深めました。



行政報告

第2回定例会において、町長から行政報告がありました。(抜粋)

第2回定例会

本別湯閉鎖に伴う今後の対応について

本別湯の営業終了に伴い、公衆浴場を利用していただく方に対し、これまでも一般開放していた老人福祉センター入浴室の利用について、直接チラシを配布し、町民の皆様には「暮らしの情報紙 かけはし」4月15日号等で周知を行っています。

現在、一般開放の利用者数は、本別湯閉鎖前が男性3人前後、女性8人前後でしたが、閉鎖後は、男性は同数、女性は13人と5人の増加となったため、入浴時間を15分前倒しとなる12時45分からとし、利用者のご協力をいただき、3交替で入浴が出来るよう時間帯の調整等を行っている状況です。

毎週火・金曜日だった入



老人福祉センター入浴室

浴日を毎週月・水・金曜日の週3回とし、祝日も利用できるよう入浴日数拡大、女性の入浴時間を1時間延長し2時間、男性の入浴時間を15分延長し1時間15分としました。

また、関係部局と連携し、風呂設備のある公営住宅への住替支援など各種支援に努めます。

ごみ処理体制と銀河クリーンセンターの運営・維持管理について

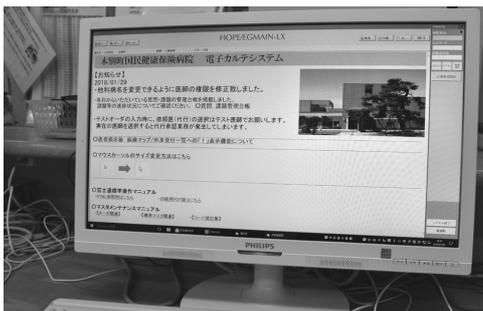
平成31年度から、燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ・危険ごみ・有害ごみは、十勝圏複合事務組合のくりりんセンターで処理し、資源ごみの中間処理・小動物の焼却処理については引き続き銀河クリーンセンターで処理されることとなります。

ごみの分別方法や出し方の変更に伴う住民周知は、できるだけ早い時期に、ごみ分別ガイドブックの素案を作成し、説明会を開催していきたいと考えています。

銀河クリーンセンターの今後の運用について、平成30年度をもって池北三町行政事務組合を解散し、該当事務を足寄町に継承、委託することで、経費の負担軽減を図りながら、運営と維持管理をしていく方向で調整を進めています。

第3セクター企業の経営状況について

本町出資の第3セクター企業(株本別システム総合研究所)の平成29年度の経営状況は、管内公立病院では先駆けとなる電子カルテシステムの導入、小中学校用コンピュータの導入など大型事業の受注により、売上高、前年比27.0%増の1億3,607万円、経常利益は前年比48.0%減の30万円と、増収減益ながら3期連続の黒字決算で完了しました。



導入された電子カルテシステム

議長との対話室を行っています

開設日：平日
 時間：午前10時～正午
 午後1時30分～午後4時
 ※上記以外の曜日・時間帯でも、希望があれば相談に応じます。
 申し込み及び問い合わせ先：
 議会事務局 ☎22-8123

**9月定例会は
11日から予定しています**

私たちの住む町の議会です
 どなたでも自由に傍聴できます
 あなたも傍聴してみませんか

ユーヒーぶれいく



人と人が認め合い、
共に成長していければ



久常直美さん(勇足西4)

今回初めて議会を傍聴された、勇足西4区にお住まいの久常直美さんにお話を伺いました。

久常さんは奈良県天理市出身、京都の短期大学を卒業後、北海道へ。日高での牧場生活、札幌での一人暮らし、そして十勝川温泉のホテルで働いていたとき、縁あって18年前に本別町へ。議会を傍聴するきっかけは「議会の折り込みチラシを見て、気になった質問があったから」とのこと。感想は「テレビ（都議会）と同じようなことが本別でも

「最近話題となつている大学の組織のような考えでは人づくりはできない」「人と人が認め合い、共に成長していければ」など、ご自身のお考えを話してくださいました。

議会や町に望むことは、「もう少し観光に力を入れて」などのご意見をいただきました。「最近はこのことに興味が出て来た」とも話されていました。

3人のお子さんを育てている最中のお母さんで、爽やかな雰囲気の中でインタビューを終えました。

議会日誌

〔5月〕



- 18日 議会運営委員会、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 21日 一部事務組合議会臨時会（帯広市）
- 24日 議会運営委員会
- 25日 十勝圏活性化推進期成会産業建設委員会（帯広市）
- 28日 議員協議会、議会運営委員会
- 30日 十勝林活議連協議会総会（帯広市）

〔6月〕



- 1日 議会運営委員会
- 5日 第2回定例会開会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会、議員協議会、本別町林活議連役員会
- 6日 十勝圏活性化推進期成会総会（帯広市）
- 8日 議会運営委員会
- 11日 議員協議会
- 12日～13日 北海道町村議会議長会総会（札幌市）
- 14日 本会議（一般質問）、本別町林活議連総会
- 15日 本会議（議案審議）、広報広聴常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 21日 議員協議会
- 24日～25日 札幌本別会（札幌市）
- 28日 議会運営委員会、広報広聴常任委員会
- 29日～30日 清流会総会（東京都）

〔7月〕



- 1日 清流会総会（東京都）
- 3日～4日 北海道町村議会議長会議員研修会（札幌市）
- 4日 議員協議会、議員会役員会
- 12日 広報広聴常任委員会
- 23日 広報広聴常任委員会
- 25日～26日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会札幌、中央要望（札幌市、東京都）
- 30日 一部事務組合議会臨時会（帯広市）

行われているんだな」、また、「質問に対してどれだけの納得のいく答えが返ってきて、どれだけの内容が具体的に実行されてきたのか？」といった疑問を持たれていました。まちづくりに対しては、

編集後記

▼最近の異常ともいえる気候、農業ばかりではなくあらゆることへの影響がとも心配、一日も早い天候の回復を望むところでです▼私たちメンバー5人は、より多くの町民の皆さんに読んでいただける紙面作りを心がけ、職員の方にお世話になりながら「議会だより」作りに取り組んでまいりました▼今回は86号の発行となりましたが、表紙に載せる写真撮り当番の時はいつも緊張、「ユーヒーぶれいく」に登場していただく方へのインタビューでは、議会に対する厳しい意見にドキドキ、まちづくりに対する皆さんの熱い思いに感動▼次号からは改選後の新体制で紙面作りが行われますが、これからも是非「議会だより」をご愛読ください▼最後にご協力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。有り難うございました。

委員長 小笠原良美
副委員長 藤田直美
委員 高橋利勝
阿保静夫
大住啓一

